

ガラスふき

●ガラスふきをするときのお天気…曇りか雨の降った次の日などで 汚れがゆるんでいるときに適しています。
晴れた日の窓掃除は、洗剤や水分が乾きやすく 跡が残りやすいのです。
汚れが 湿気を吸収してゆるむ…曇りの日か、雨の降った次の日が 適しています。

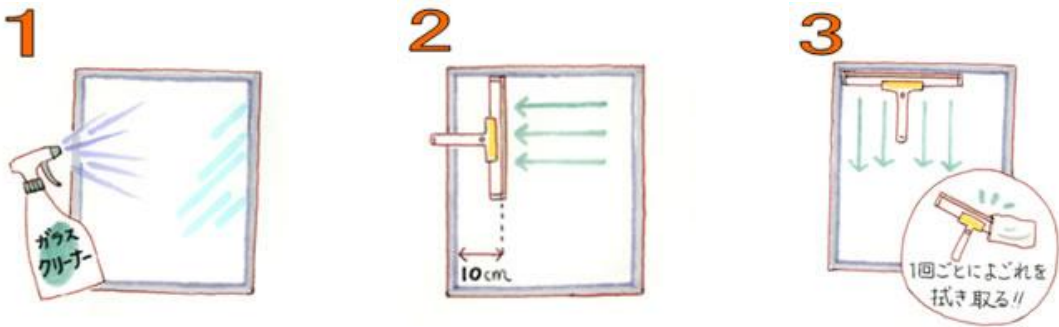
●あると便利なガラスふき道具…スキージー

窓ガラスの汚れは、水溶性のものが多いため 比較のおそうじしやすいものです。



窓そうじは ぞうきんでやるのもいいですが、スキージーがあると便利です。
水滴や ガラス用洗剤をふきとり、みちがえるように ピカピカにします。

★ いつものおそうじ



1 窓全体に ガラス用洗剤をスプレーし、汚れが浮くまで しばらく待ちます。
2 上端から、横方向にスキージーを動かして汚れをふき取ります。完全に端までふき取らず、10cmほど手前で止めます。
3 1回ごとに スキージーを拭き、最下部までできたら、左端に残った水分を上から下まで拭き取ります。

★ お手軽おそうじ



1 古新聞を 1枚ずつ丸めて、準備をしておきます。
2 めるま湯 9 : 酢1を入れたバケツに、新聞紙を1枚丸めて浸します。軽く絞ったら、窓ガラスを「Z」を書くように拭きます。
3 汚れが取れたら、乾いた新聞紙を丸めて、磨いてツヤ出しをします。新聞紙のインクの油分が 皮膜をつくるので ピカピカになります。